

果実肥大は「幸水」、「豊水」いずれも平年と比べて大きくなりました。関東地方は、6～8月にかけて気温が高くなる見込みです。害虫の多発生に注意が必要です。

【気 象】

■気象条件

5月の日平均気温は、全ての半旬で平年より高く、月平均では平年より1.2℃高くなりました(表1)。降水量は平年を大幅に上回りました。一方で日照時間は平年並でした。6月の第1半旬及び第2半旬は気温、降水量、日照時間いずれも平年並でした。関東甲信地方の梅雨入りは、平年では6月7日頃、昨年は6月8日頃でしたが、本年は6月20日現在未発表です。

表1. 令和6年5～6月の気象(アメダス佐倉)

月	半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月	1	17.5	17.8	16.6	43	1	16	49	56	31
	2	17.6	16.2	17.1	19	133	19	21	33	29
	3	18.8	16.4	17.6	57	9	22	32	14	28
	4	19.4	20.9	18.2	40	14	23	32	41	30
	5	20.8	18.0	19.0	0	21	22	29	28	30
	6	21.3	20.3	19.6	67	18	23	19	29	35
5月平均/計		19.3	18.3	18.1	224	194	127	181	200	179
6月	1	19.2	21.1	20.0	34	202	19	38	32	27
	2	21.1	21.4	20.4	9	35	23	22	17	24

注) 平年は平成3年～令和2年の30年間の平均

【生育状況】

■果実の肥大

6月10日の果実の大きさを満開後日数の横径で比較すると、「幸水」では平年と比べ、農林総研が111%、市川市が110%といずれも大きくなりました(表2)。「豊水」では平年と比べ、農林総研が107%、鎌ヶ谷市が108%といずれも大きくなりました。

表2. 基準調査園における生育調査の結果(6月10日)

品種	調査地	樹齢	横径(cm,%)			縦径(cm,%)			着果数 個/樹
			果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後	
幸水	農林総研	20	3.82	(92, 113)	(106, 111)	3.21	(89, 111)	(102, 108)	260
	市川市	39	3.94	(98, 115)	(111, 110)	3.34	(96, 113)	(108, 108)	やや多
豊水	農林総研	44	3.83	(94, 112)	(106, 107)	3.66	(96, 114)	(106, 111)	550
	鎌ヶ谷市	20	3.76	(92, 108)	(103, 108)	3.48	(90, 107)	(100, 100)	並

注) 横径及び縦径の()は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

■作柄の予想

満開後50日の果径(農林総研)から予測される「幸水」の収穫果重は355gで、平年の115%と大きくなっています。「豊水」のみつ症は、満開後91～100日の日最高気温の平均値が低い年に多発する傾向にあります。農林総研では7月8日～17日とその期間に当たるので留意が必要です。

気象庁（6月13日発表）の1か月予報によると、今後は曇りや雨の日が多くなる見込みです。気温は高く、降水量は平年並で、日照時間はやや少なくなると予想されています。また、3か月予報（5月21日発表）によると、6～8月にかけて気温は高くなると予想されています。

【栽培管理のポイント】

■仕上げ摘果の実施

「幸水」では、極小果や裂果を7月中旬頃に摘果します。黒星病発病果や変形果などは見つけ次第摘果します。他の品種についても変形果などは早めに摘果します。

■新梢管理

樹冠内部が混雑して日光の透過が悪い場合は早急に誘引や摘心などで対処します。新梢を過度に間引くと樹勢や果実肥大に悪影響が出るおそれがあるので注意します。「幸水」の予備枝は、6月中下旬（新梢伸長停止直前）に予備枝ごと倒し、先端から伸長した新梢を仰角20～30度になるように誘引します。

■灌水・排水

灌水は土壌が乾燥する前に始めます。砂質土では5～7日間、その他の土壌では10～15日間まとまった雨がないうちに、10a当たりそれぞれ15t、20～30t灌水します。一方、梅雨の後半には集中豪雨が起りやすいので、水はけの悪い圃場では明渠などによる排水対策を行います。

■病害虫対策

千葉県（6月14日発表）の病害虫発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、シンクイムシ類が多、ハマキムシ類がやや多、黒星病、アブラムシ類が並、カメムシ類が多となっています。黒星病のスズ状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、園外に持ち出します。治療効果のあるDMI剤は連用すると耐性菌出現の可能性があるので、使用は年3回以内とします。

表3. 協力調査地における生育調査の結果（6月10日）

品種	調査地	樹齢	果径(cm、%)		病害虫発生状況及び特記事項
			横径	縦径	
幸水	市原市	17	3.95 (89)	3.29 (89)	
	木更津市	24	3.70 (86)	3.20 (86)	
	印西市	26	3.83 (93)	3.18 (92)	ハマキムシ有
	柏市	13	3.92 (93)	3.23 (92)	
	いすみ市	35	4.46 (99)	3.55 (83)	
	一宮町	25	4.20 (81)	3.20 (73)	
	香取市	31	3.74 (105)	3.19 (103)	
豊水	八千代市	18	3.38 (90)	3.19 (89)	
	館山市	21	3.73 (92)	3.54 (100)	
	旭市	26	3.64 (90)	3.42 (92)	
	香取市	21	3.71 (92)	3.58 (99)	
	四街道市	11	3.82 (104)	3.48 (94)	カメムシ有
あきづき	鎌ヶ谷市	25	3.70 (97)	3.30 (94)	
	船橋市	13	3.67 (91)	3.16 (93)	
	松戸市	26	3.27 (87)	3.20 (90)	
	いすみ市	15	3.40 (95)	3.00 (93)	

注) () 内の値は、前年対比を記載。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>